

都道府県 CI・予測 CI（景気動向指数・6 月予測） ～雇用・消費分野が悪化し九州地域全県でマイナス

2021 年 6 月 3 日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

九経調では、2020 年 4 月から全国の地域ブロック別、都道府県別の景気動向指数（都道府県 CI）¹を作成し公表している。加えて、政府統計等が公表されていない足元までの期間について、インターネット上の日次データや機械学習の手法を用いて、都道府県 CI の 3 カ月先を予測した景気動向指数の予測値（予測 CI）²を DATASALAD にて公表している。本稿では、2021 年 5 月末日までの統計、インターネット上のビッグデータを用いて推計した 2021 年 6 月の予測 CI を解説する。

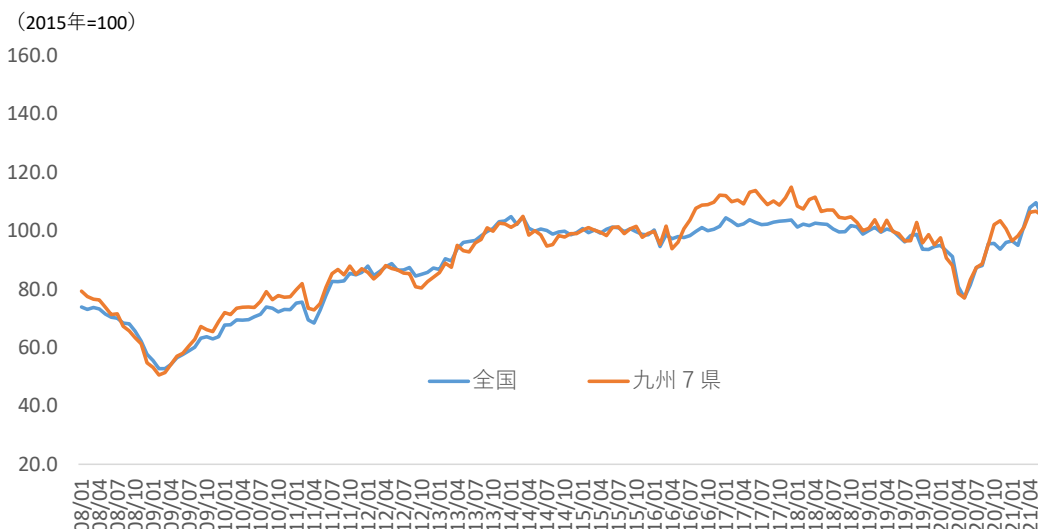
2021 年 6 月の九州 7 県の予測 CI：5 カ月ぶりマイナス

2021 年 6 月における九州 7 県の予測 CI は前月比▲1.3%の 105.3 となり、5 カ月ぶりにマイナスとなった。都道府県 CI は 2020 年 5 月を底に反転し、2020 年 12 月以降は一進一退で推移しつつ、2021 年 2 月以降はプラスで推移していたが、新型コロナウイルス感染拡大第 4 波の影響が表面化することになるとみられる。2021 年 6 月は雇用と消費分野がマイナスに寄与し、前月を下回った。特に雇用分野の低下寄与度が大きい。

なお、コロナ感染拡大に伴い、福岡県において 5 月 12 日より緊急事態宣言が発出された。酒類を提供する飲食店等への休業要請や不要不急の外出自粛要請により消費支出抑制と景気への悪影響が生じている。本推計においても、5 月の CI は 5 月 11 日公表値に比べ今回公表値のほうが伸び率が小さく、福岡県はマイナスに転じるなど、下方修正となった。6 月も緊急事態宣言の影響下にあり、マイナスとなる可能性がある。

全国は前月比▲3.9%の 105.4 となり、九州よりも大きくマイナスとなった。九州と同様に雇用と消費分野が悪化を牽引している。

図 1 都道府県 CI、予測 CI（全国、九州 7 県）



注 1) 2021 年 3 月までは実績値（都道府県 CI）、2021 年 4～6 月は予測 CI

注 2) 2021 年 6 月 1 日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

2021年6月の九州地域の予測CI：雇用、消費分野が悪化

2021年6月における九州地域（九州7県・沖縄県・山口県）の予測CIを県別にみると、全県でマイナスとなり、特に熊本県（前月比▲4.0%）、宮崎県（同▲3.4%）、沖縄県（同▲3.3%）、長崎県（同▲2.9%）、大分県（同▲2.9%）でマイナス幅が大きかった。熊本県と宮崎県は雇用分野のマイナス寄与度が大きく、沖縄県と長崎県は雇用に加えて消費分野のマイナス寄与も大きい。大分県は、雇用分野はプラスであるが、消費分野のマイナス寄与が大きい。

消費分野のマイナスは、緊急事態宣言発出に伴う他県からの旅行者の減少の影響が大きいとみられる。また、雇用分野では、卸・小売業や飲食・宿泊サービス業、生活関連サービス業で雇用者が減少傾向にあり、先行きのマイナス要因となっている。

表1 都道府県CI、予測CI（全国、九州地域）

	指数（2015年=100）						前月比（%）					
	都道府県CI			予測CI			都道府県CI			予測CI		
	2021年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	2021年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	96.5	95.0	101.7	108.0	109.7	105.4	0.5	▲1.6	7.1	6.2	1.5	▲3.9
九州7県	96.5	98.3	101.2	106.4	106.7	105.3	▲4.2	1.9	3.0	5.1	0.3	▲1.3
山口県	76.8	78.1	84.8	95.0	99.3	98.5	▲1.4	1.7	8.6	12.0	4.6	▲0.8
福岡県	80.9	84.5	90.5	94.4	94.0	93.7	▲8.3	4.4	7.1	4.3	▲0.5	▲0.3
佐賀県	79.0	77.5	78.6	83.3	85.6	85.2	0.8	▲1.9	1.4	6.0	2.8	▲0.6
長崎県	79.9	83.9	92.7	93.6	95.7	92.9	▲11.0	5.0	10.5	1.0	2.2	▲2.9
熊本県	108.7	111.1	122.9	130.5	131.6	126.3	▲8.0	2.2	10.6	6.2	0.8	▲4.0
大分県	90.4	91.3	98.6	99.8	99.7	96.9	1.1	1.0	8.0	1.2	▲0.1	▲2.9
宮崎県	82.1	90.0	98.8	102.3	104.9	101.3	▲6.5	9.6	9.8	3.5	2.5	▲3.4
鹿児島県	98.4	98.6	107.6	116.1	120.1	117.5	2.0	0.2	9.1	7.9	3.5	▲2.2
沖縄県	75.0	75.8	88.8	94.5	97.6	94.3	3.3	1.1	17.2	6.4	3.3	▲3.3

注1) 2021年3月までは実績値（都道府県CI）、2021年4～6月は予測CI

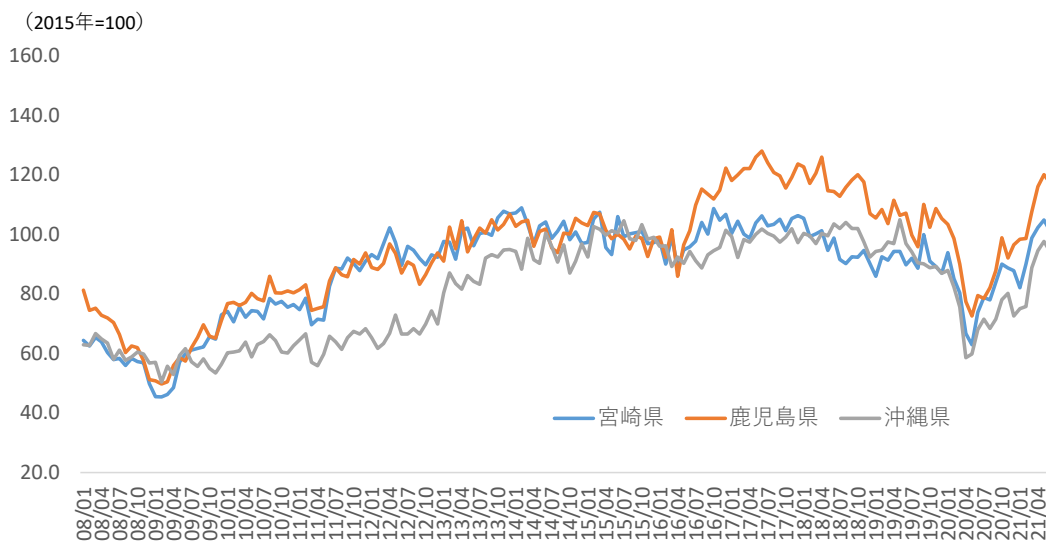
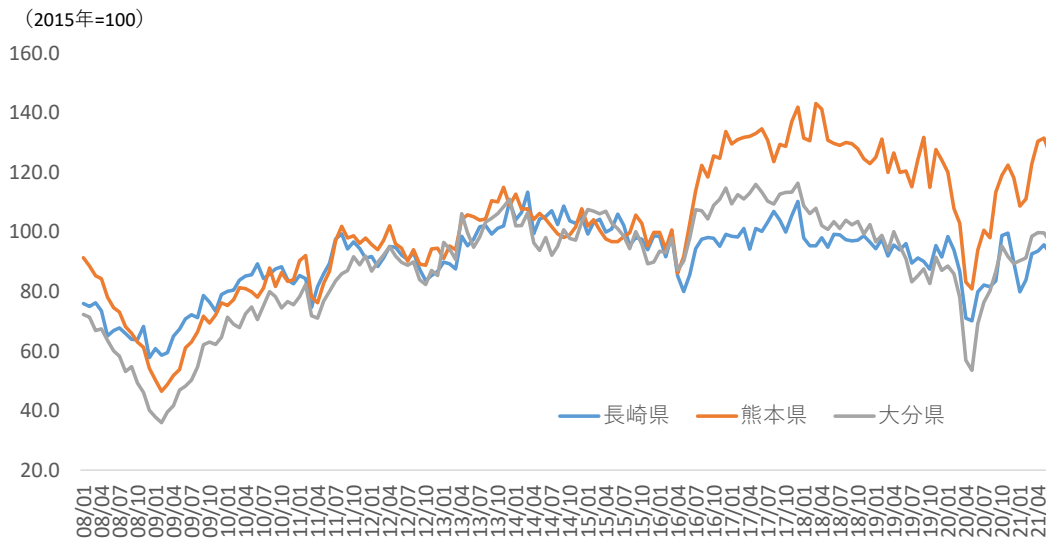
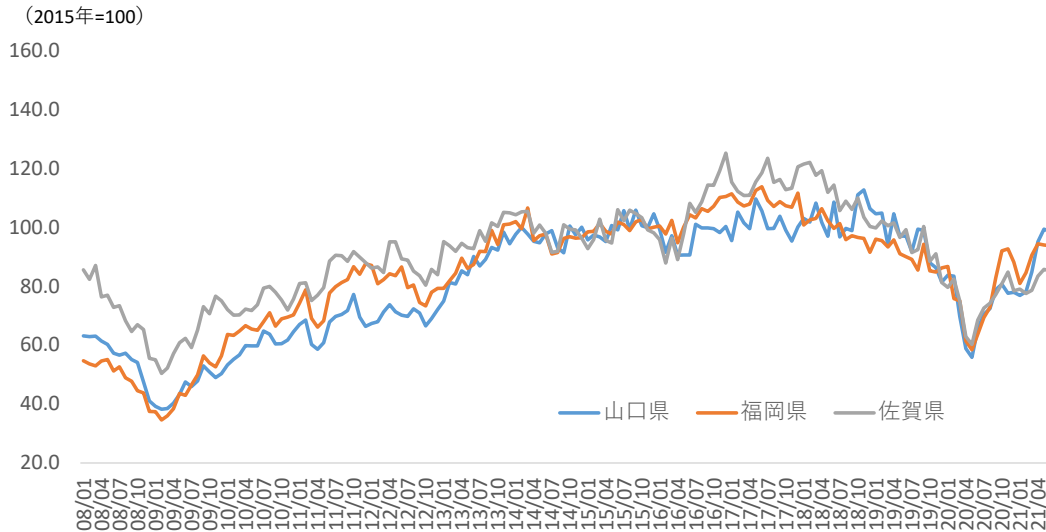
注2) 2021年6月1日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

松嶋 慶祐（事業開発部 次長）

E-mail:matusima@kerc.or.jp

図2 都道府県 CI、予測 CI (県別)



注1) 2021年3月までは実績値(都道府県CI)、2021年4~6月は予測CI

注2) 2021年6月1日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

i 景気動向指数（CI）は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握を行うための総合指数である。九経調が公表している都道府県 CI は、内閣府が公表する CI の作成方法を踏襲し、さらに都道府県・地域で共通する指標を用いつつ、景気変動を反映する主要分野の動向を網羅している。このことにより、的確に地域の景気動向を把握することができ、さらに、都道府県間、地域間での比較が可能である。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐、三井栄「C I 手法の応用による九州地域の景気分析と景気予測の可能性」九州経済調査月報 2019 年 11 月号

ii 予測 CI は、機械学習を用いた線形回帰モデルを用いて、都道府県 CI を予測したものである。経済指標のほか、気象データ（気温や降水量）など、景気の動向に影響を与えると想定されるデータを説明変数として投入し、機械学習によってモデルを作成している。予測 CI は全国、地域ブロック、九州地域（九州、沖縄県、山口県）の県別値のみ推計している。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐「日次データと機械学習の活用による景気予測」九州経済調査月報 2020 年 1 月号